

# Total Variation 法を併用した Intravoxel motion imaging- Diffusion Kurtosis Imaging(IVIM-DKI)撮像の髄膜腫解析への有用性の検討に関する研究

## 1. 研究の対象

2024 年 2 月～2028 年 11 月に当院で髄膜腫経過観察目的で MRI 撮像を受けられた方で未治療の方

## 2. 研究の概要

研究期間: 総長の研究実施許可日～2028 年 11 月 1 日

研究目的: Total Variation 法を用いた IVIM-DKI 解析を行い、髄膜腫の灌流状態解析への有用性を検討する

研究方法: 対象者を撮像した結果を解析し、灌流解析に有用かどうかを検討する

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: MRI 撮像画像、病歴 等

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 放射線診断・IVR 科 峠田 晃伸

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

-----以上